

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 知的財産センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 特許庁の調査研究「デザインの創作活動の特性に応じた実践的な知的財産権制度の知識修得の在り方に関する調査研究」により、デザイナー志望の学生向けの教材・カリキュラムモデルの作成を行ない、デザイン分野における知的財産教育の普及に貢献するための教材を作成したことが評価できる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 多額の受託研究・研究助成等の採択により、外部資金の獲得に大いに成功したことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。